

事業名：地域子育て支援拠点事業

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる		
取組の基本方針	(1) 子育て環境の充実			具体的施策	(1) 地域子育て支援の充実		
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以下の児童とその保護者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小学生以下の児童数	人	0	0	0	10,566
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内に8カ所設置している子育て支援センター（すくすく、ぽこあぼこ、ぼろっこ、もりのこ、ゆうあい、わかば、どんぐり、まんまカフェ）において、次の子育て支援事業を実施する。
 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
 ・子育て等に関する相談、援助の実施
 ・地域の子育て関連情報の提供
 ・子育ておよび子育て支援に関する講習会等の実施（月1回以上）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	開設日数（一か所あたりの平均）	日	0	0	0	267
活動指標 2	事業（講習会等）実施数	回	0	0	0	270

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

親子が交流できる場の提供及び子育て情報、子育て相談、子育てに関する講習会の実施等により、子育て家庭の交流促進や育児負担感の軽減を図るとともに、子どもの健やかな育ちを支援し、安心して子育てができる環境を整備する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	年間延べ利用者数	人	0	0	0	95,000
成果指標 2	事業参加組数	組	0	0	0	2,000

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	85,559
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	36,574
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	122,133

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	市内子育て支援センター（8カ所）の運営	・子育て支援センターすくすく運営経費 7,268千円	
	<令和4年度実績、令和5年度実績見込み> ・開設日数：(R4) 267日 (R5見込み) 259日 ・事業（講習会等）実施数：(R4) 252回 (R5見込み) 270回 ・年間延べ利用者数：(R4) 92,840人 (R5実績見込み) 89,085人 ・事業参加組数：(R4) 1,732組 (R5実績見込み) 2,000組	・子育てひろばぽこあぼこ運営経費 34,257千円 ・子育て支援センターぼろっこ運営経費 5,086千円 ・民間子育て支援センターへの委託費 38,948千円	

6年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： 保育人材等確保対策事業

子ども育成課 給付係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(1) 子育て環境の充実			具体的施策	(2) 就学前児童への支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保育が必要な児童

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	保育を必要とする児童	人	1,905	2,024	2,257	2,386
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

保育の提供体制の確保と保育の質を維持・向上するため、保育従事者の養成、保育従事者確保のための補助事業等を行う。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	保育施設の利用定員数	人	1,859	2,197	2,211	2,223
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保育人材等を確保することで、待機児童が解消されるとともに、保育の質が維持・向上し、保護者が働きながら安心して子育てできる環境づくりが図られる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	待機児童数（国基準）	人	11	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	8,334	14,061	34,192	22,945
正職員人件費 (B)		千円	5,705	5,323	4,994	4,852
総事業費 (A+B)		千円	14,039	19,384	39,186	27,797

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
6年度	子育て支援員の養成、保育従事者確保のための各種事業を行う。	・ 子育て支援員研修実施経費	935千円		
		・ 保育人材確保に係る事業者向け補助	21,710千円		
		・ 保育人材確保対策事業周知経費等	300千円		

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 児童館地域交流推進事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(1) 子育て環境の充実			具体的施策	(3) 学齢児童への支援				
開始年度	昭和46年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び高校生

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	市内小中学生及び高校生の数（5月1日）	人	13,119	13,050	13,050	12,936
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の大人との指導・交流を通して、遊び、行事、イベントなどの活動を実施する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	年間開館日数	日	224	293	293	293
活動指標 2	延べイベントメニュー数	件	188	220	237	237

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童の協調性、自主性、可能性を引き出すことで、放課後における児童の健全育成が図られる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	延べ利用人数	人	22,923	22,919	25,130	25,130
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	61,990	63,242	67,597	78,489
正職員人件費 (B)		千円	5,325	5,323	6,146	5,225
総事業費 (A+B)		千円	67,315	68,565	73,743	83,714

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	児童センター（市内7か所）の開設 開設日 月曜日から土曜日まで（祝日を除く） 開設時間 午前9時から午後5時まで （土曜日及び学校休業日） 午前11時から午後5時まで （土曜日及び学校休業日以外の日）	会計年度任用職員報酬・諸手当等 燃料費 光熱水費 修繕費 委託料	61,659千円 1,072千円 2,936千円 1,270千円 7,044千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：放課後児童クラブ運営費補助金

子育て支援課 子ども家庭係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる		
取組の基本方針	(1) 子育て環境の充実			具体的施策	(3) 学齢児童への支援		
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

民間放課後児童クラブ

指標名	単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1 民間放課後児童クラブの数	か所	20	21	23	25
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するために設置運営される民間放課後児童クラブに対し運営費を補助する。
- ・「江別市民間放課後児童クラブ運営費補助金交付要綱」に基づき、利用児童数、開設日数、開設時間等に応じ、補助する。

指標名	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	141,900	150,877	165,511	247,423
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民間開設の放課後児童クラブが安定した経営を維持することで、留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1 民間放課後児童クラブ登録児童数	人	803	866	913	1,023
成果指標 2					

事業費の推移	単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)	千円	143,164	150,877	178,870	247,423
正職員人件費 (B)	千円	6,086	6,083	6,915	5,971
総事業費 (A+B)	千円	149,250	156,960	185,785	253,394

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	民間開設団体に対する運営費及び施設整備等補助金等	運営費補助金	241,423千円
		施設整備等補助金	6,000千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：放課後児童クラブ運営事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(1) 子育て環境の充実			具体的施策	(3) 学齢児童への支援				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公設民営で設置している放課後児童クラブがある小学校の児童

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	公設民営の放課後児童クラブがある小学校の児童数（5月1日）	人	449	435	435	433
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するため、放課後児童クラブを公設民営で設置する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	開設日数	日	291	292	293	293
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	公設民営放課後児童クラブ登録児童数（5月1日）	人	62	64	64	64
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	15,481	16,106	19,362	19,541
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,521	2,305	1,493
総事業費 (A+B)		千円	17,002	17,627	21,667	21,034

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	公設民営で設置している放課後児童クラブの運営	運営業務に係る委託料 光熱水費	16,244千円 460千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中一貫教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(4) 教育内容の充実				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校児童生徒数	人	0	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

小中学校、家庭、地域で目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を行うための小中一貫教育推進体制を整備する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	小中一貫教育導入学校数	校	0	2	25	25
活動指標 2	小学6年生の中学校登校日数	日	0	19	21	21

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

小中学校・家庭・地域が中学校卒業時の望ましい姿を共有しながら、義務教育の9年間で系統性と発達段階に応じた連続性のある指導に取り組む一貫教育を推進することで、目指す子ども像を実現する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合	%	0	78	81	84
成果指標 2	「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合	%	0	66	64.9	66

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	0	2,314	2,002	2,526
正職員人件費 (B)		千円	0	6,083	6,146	5,225
総事業費 (A+B)		千円	0	8,397	8,148	7,751

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、市教委と各中学校区が行う様々な取組を通じて、学習習慣や生活規律の定着、中1ギャップの緩和、異学年交流の促進、教職員の意識改革などにより、目指す子ども像を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校6年生が中学校登校を行う際に利用するバス代 1,368千円 研修、会議の運営等に要する経費 486千円 小中一貫教育全国サミット等の先進事例等視察旅費 351千円 小学校の教科書改訂に伴う、研究用教科書購入経費 305千円 	

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(4) 教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）と、書写やミシンなど、教科指導以外の学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	34	36	31	31
活動指標 2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	28	40	57	57

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,470	3,464	3,470	3,470
成果指標 2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	279	567	606	484

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	9,047	9,322	9,372	13,000
正職員人件費 (B)		千円	3,043	3,042	3,842	3,732
総事業費 (A+B)		千円	12,090	12,364	13,214	16,732

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。 ボランティア等の交通費（700円/日）を支給する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習サポート教員派遣経費 9,396千円 コーディネーター報酬等 2,846千円 地域ボランティア派遣経費 397千円 学生ボランティア派遣経費 361千円 	

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(4) 教育内容の充実				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	6,751	7,293	6,472	6,826
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しいと考える児童生徒の割合	%	83	87	89	87
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	34,031	34,455	34,953	37,879
正職員人件費 (B)		千円	6,086	6,083	6,146	3,732
総事業費 (A+B)		千円	40,117	40,538	41,099	41,611

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。 	外国語指導助手報酬 36,226千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
 ・学校や関係機関（医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等）との連携や調整
 ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	4
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	740	764	1,100	1,100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	支援児童生徒数	人	166	175	180	180
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	7,187	7,427	7,361	11,257
正職員人件費 (B)		千円	3,043	3,042	3,073	2,986
総事業費 (A+B)		千円	10,230	10,469	10,434	14,243

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	福祉の専門知識を有するスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬及び手当：11,211千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	いじめ・不登校の未然防止や早期対応の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーを増員し、課題を抱える児童生徒に対する十分な支援時間を確保する。

事業名：いじめ防止対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる			
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実			
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
 ・いじめの早期発見、早期対応を図るため、小中学生に対するいじめアンケート調査を実施する。
 ・いじめなどの悩みについて、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
 ・いじめ根絶をテーマの一つとして、えべつ中学生サミットを開催する。
 ・情報モラル普及啓発及びいじめを許さない意識醸成のため、講演会の開催、資料の作成・配付を行う。
 ・いじめや不登校等の未然防止、早期発見のためハイパーQUを実施する。
 ・いじめ防止対策審議会を開催する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	いじめアンケート実施回数	回	2	3	3	3
活動指標 2	いじめ相談件数	件	6	12	19	20

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・いじめが解消される。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	99	66	70	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1,585	2,405
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,610	11,196
総事業費 (A+B)		千円	0	0	6,195	13,601

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の設置 心のダイレクトメールの実施 いじめアンケートの実施 えべつ中学生サミットの開催 情報モラルの普及啓発 ハイパーQUの実施 いじめ防止対策審議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> えべつ中学生サミット開催経費：80千円 情報モラル普及啓発経費：303千円 ハイパーQU実施経費：1,675千円 	

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	いじめや不登校等の未然防止、早期発見のため、ハイパーQUをこれまでの中学校1年生に加え、小学校6年生を対象に実施する。

事業名：不登校児童生徒支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	6 子育て・教育			戦略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	258	286	260	290

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
 ・スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
 ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室を運営する。
 ・校内支援室に登校サポーター（有償ボランティア）を派遣する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
活動指標 1	不登校相談件数	件	62	62	67	70
活動指標 2	適応指導教室実施回数	回	159	178	203	200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不登校の児童生徒が、再登校できるようになる又は学校外の機関等で相談・支援を受けるなど、状況が変化する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績見込み	6年度予算
成果指標 1	学校や学校外の機関等とつながりのある不登校児童生徒の割合	%	55	49	50	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	6,393	8,548	8,578	19,379
正職員人件費 (B)		千円	8,748	8,364	3,842	7,837
総事業費 (A+B)		千円	15,141	16,912	12,420	27,216

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の設置 適応指導教室の実施 スクールカウンセラーによる教育相談の実施 校内支援室へ登校サポーター（有償ボランティア）の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 専任指導員報酬及び手当：8,535千円 教育相談員報酬：207千円 登校サポーター謝礼：5,400千円 適応指導教室建物等賃借料：2,508千円 	

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	不登校児童生徒に対する支援の強化に向け、適応指導教室の実施時間を午後までに拡大するため、常設会場を開設する。